平成２９年１０月１５日執行
佐賀市議会議員選挙
平成２９年１０月２２日執行
衆議院議員総選挙及び
最高裁判所裁判官国民審査
に関するアンケート調査

結　果　報　告　書

佐賀市選挙管理委員会・佐賀市明るい選挙推進協議会

平成３０年８月

１．アンケート調査実施要領

目的

佐賀市選挙管理委員会及び佐賀市明るい選挙推進協議会では、平成２９年１０月１５日執行の佐賀市議会議員選挙、平成２９年１０月２２日執行の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査において、市民のみなさんの選挙に関する動向を把握し、今後の選挙啓発活動等の参考にさせていただくことを目的にアンケート調査を実施した。

調査対象

平成２９年１０月の佐賀市議会議員選挙の選挙時登録の選挙人名簿登録者１９３，６０１人（男８９，７４０人、女１０３，８６１人）の中から、市内４４投票区の有権者数の比率により無作為に抽出した５，０００人について、平成３０年３月２日に調査票を発送した。

調査日程

アンケート調査は、平成３０年３月２３日を回答期限としていたが、期限後も多くの回答が届いていたため、集計にあたっては、平成３０年４月２７日到達分までを対象とし集計した

（回答者数１，８５０人、回収率３７．０％）

調査方法

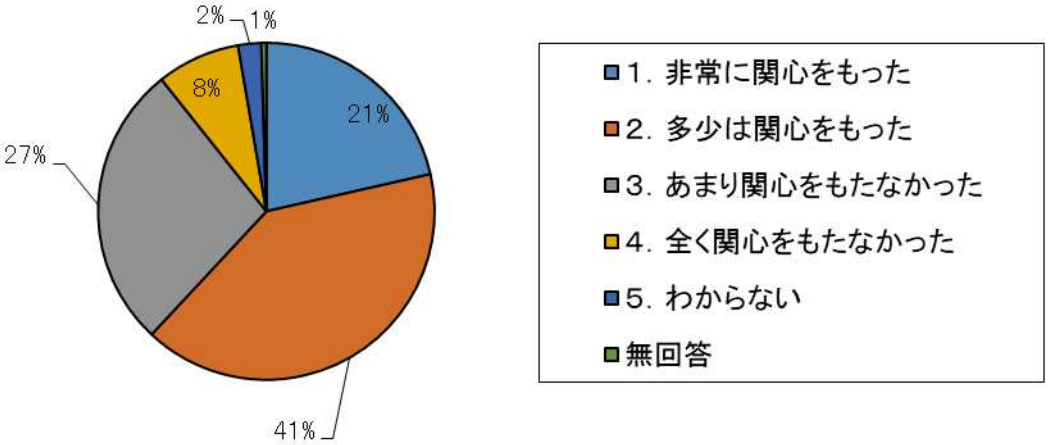
抽出者に対して、調査票を郵送し、同封した料金受取人払いの回答用封筒で調査票を回収する方法で実施した。なお、調査票は無記名での回答とした。

２．回収結果について

問１　あなたは今回の選挙について、どれくらい関心がありましたか。
２つの選挙についてそれぞれお答えください。

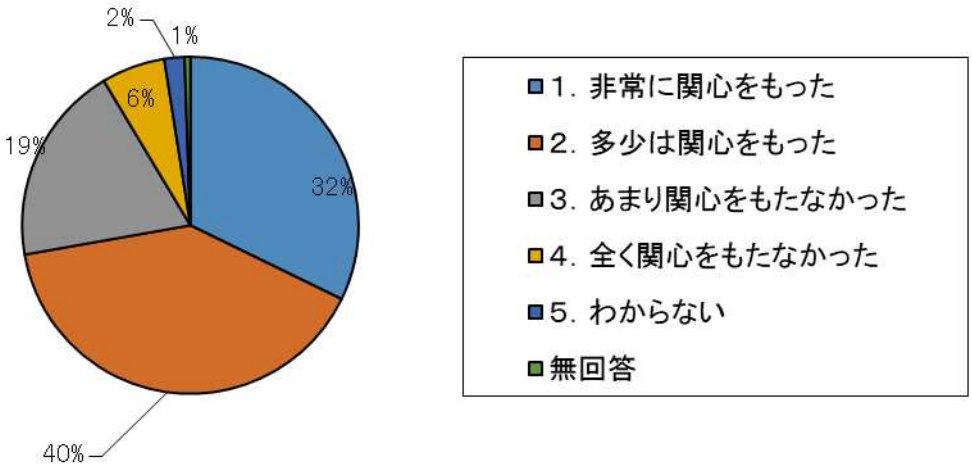
【佐賀市議会議員選挙】

全体でみると、２１％が「非常に関心をもった」、４１％が「多少は関心をもった」となっており、両者を合わせた「関心をもった」は６２％で、「あまり関心をもたなかった」（２７％）と「全く関心をもたなかった」（８％）を合わせた「関心をもたなかった」の３５％を上回っており、多数の人が関心をもっていたことが分かる。



【衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査】

全体でみると、３２％が「非常に関心をもった」、４０％が「多少は関心をもった」となっており、両者を合わせた「関心をもった」は７２％で、「あまり関心をもたなかった」（１９％）と「全く関心をもたなかった」（６％）を合わせた「関心をもたなかった」の２５％を上回っており、市議選より関心が高かったことが分かる。

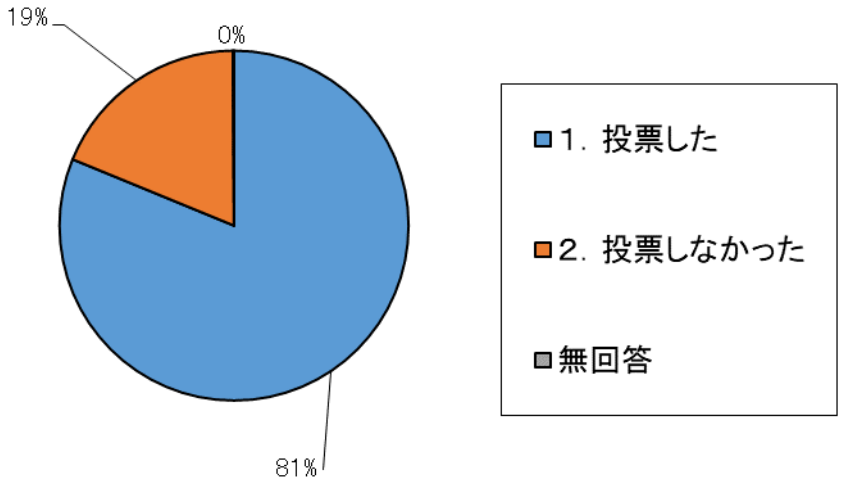


問２　あなたは今回の選挙について、投票しましたか。
２つの選挙についてそれぞれお答えください。

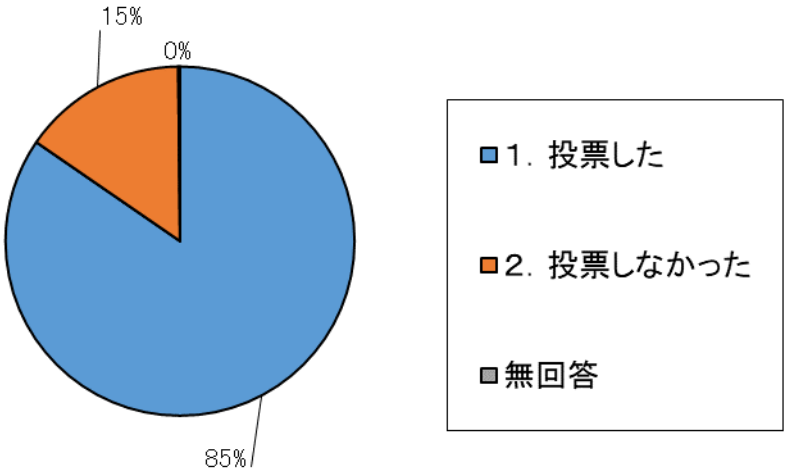
本アンケート調査は無作為抽出法を使用したため、理論上は実際の投票率と近似値になるはずであるが、調査結果（市議選８１％、衆院選８５％）が実際の投票率（市議選５１．７７％、衆院選５６．０９％）よりもかなり高い数値を示している。

要因としては、調査にご協力いただいた回答者は、潜在的に選挙に対する興味や関心が高く、実際に投票した人が多い傾向にあると考えられる。

【佐賀市議会議員選挙】



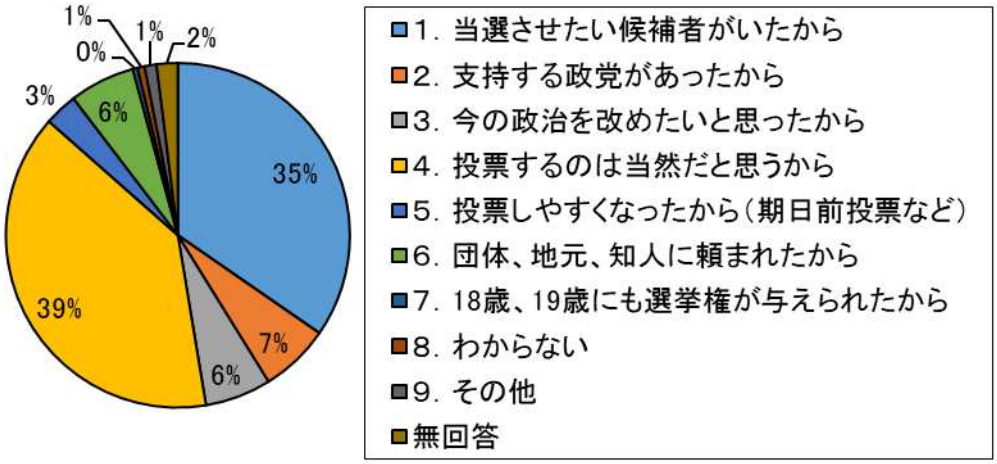
【衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査】



（問３は、問２で「１．投票した」を選んだ方のみご回答ください）
問３　あなたが投票した動機は何ですか。投票した選挙についてのみお答えください。

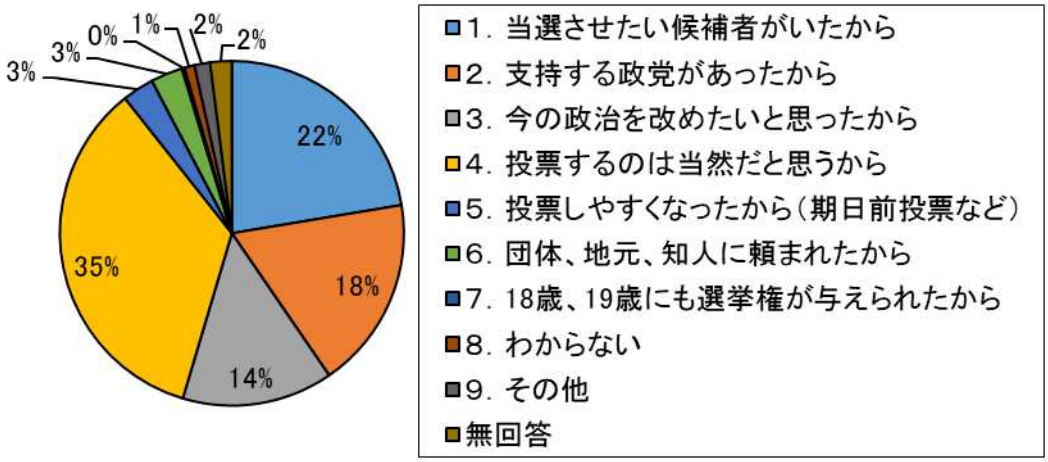
【佐賀市議会議員選挙】

全体でみると、「投票するのは当然だと思うから」（３９％）が最も高く、次いで「当選させたい候補者がいたから」（３５％）、「支持する政党があったから」（７％）、「今の政治を改めたいと思ったから」（６％）の順となっており、これらを合わせると８７％となり、政治、選挙への関心が高かったことが伺える。



【衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査】

全体でみると、「投票するのは当然だと思うから」（３５％）が最も高く、次いで「当選させたい候補者がいたから」（２２％）、「支持する政党があったから」（１８％）、「今の政治を改めたいと思ったから」（１４％）の順となっている。市議選と比較すると支持政党がある人や政治改革への期待から投票した人の割合が増えていることがわかる。

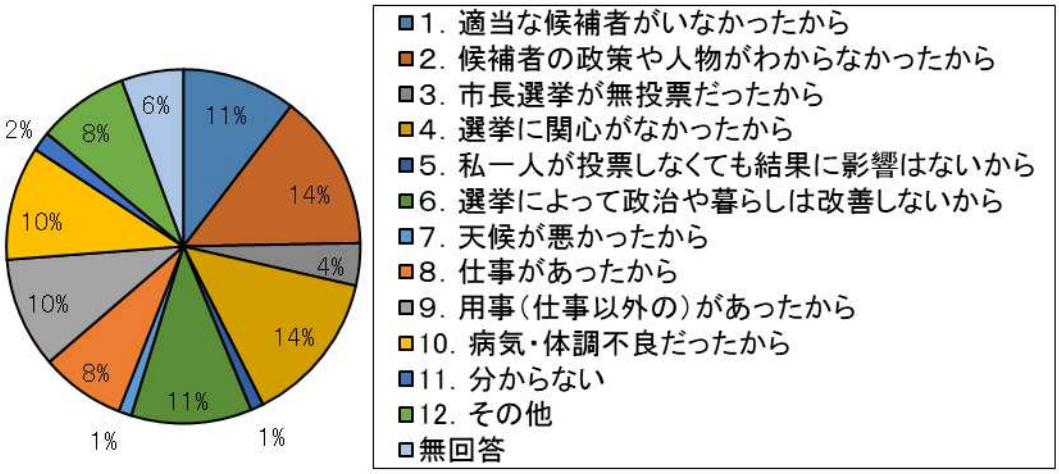


（問４は、問２で「２．投票しなかった」を選んだ方のみご回答ください）
問４　投票しなかった理由についてお答えください。
投票しなかった選挙についてのみお答えください。

【佐賀市議会議員選挙】

投票しなかった理由で最も多かったのは、「候補者の政策や人物がわからなかったから」、「選挙に関心がなかったから」（１４％）で、次いで「適当な候補者がいなかったから」、「選挙によって政治や暮らしは改善しないから」（各１１％）、「用事（仕事以外の）があったから」、「病気・体調不良だったから」（各１０％）となっている。

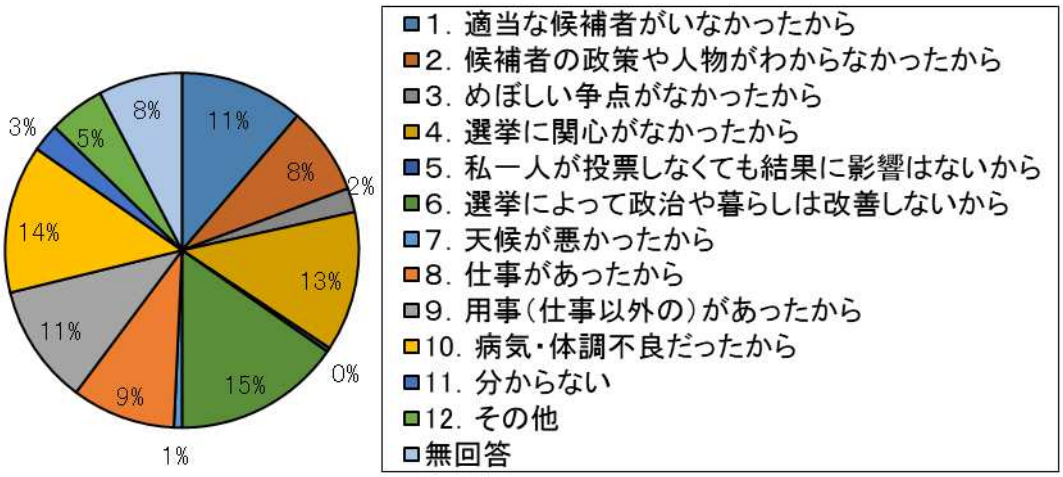
グラフで見てもそれぞれの項目に、ほぼ均等に回答があり、投票に行かなかった人にも様々な理由があったことがわかる。



【衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査】

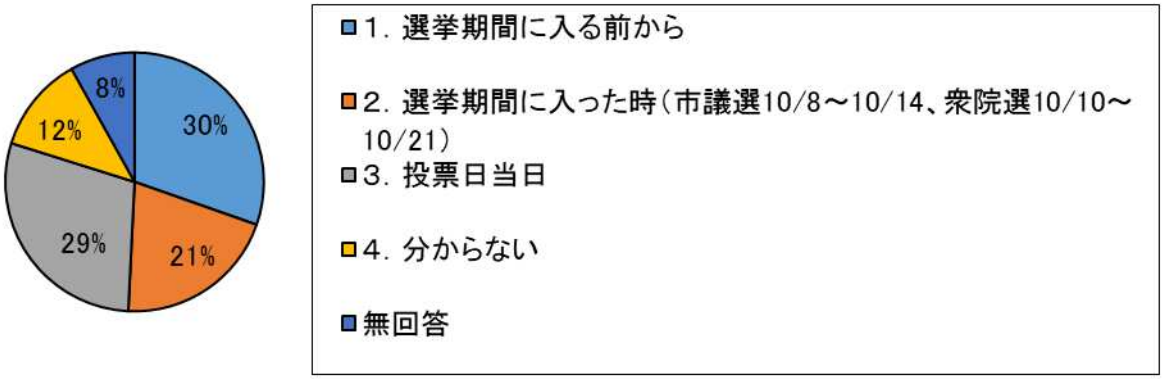
投票しなかった理由で最も多かったのは、「選挙によって政治や暮らしは改善しないから」（１５％）で、次いで「病気・体調不良だったから」（１４％）、「選挙に関心がなかったから」（１３％）となっている。

市議選に比べて「選挙によって政治や暮らしは改善しないから」の割合が増えており、政治不信などが背景にあることも考えられる。



（問５は、問２で<u>２つの選挙のうちどちらか一方でも「２．投票しなかった」</u>を選んだ方のみご回答ください。
問５　投票に行かないことを決めた時期についてお答えください。

投票に行かないことを決めた時期として最も割合が高かったのは、「選挙期間に入る前から」（３０％）が最も高く、次いで「投票日当日」（２９％）、「選挙期間に入った時」（２１％）となっており、過半数（５１％）の人が投票日当日前までに投票に行かないことを決めている結果となっている。

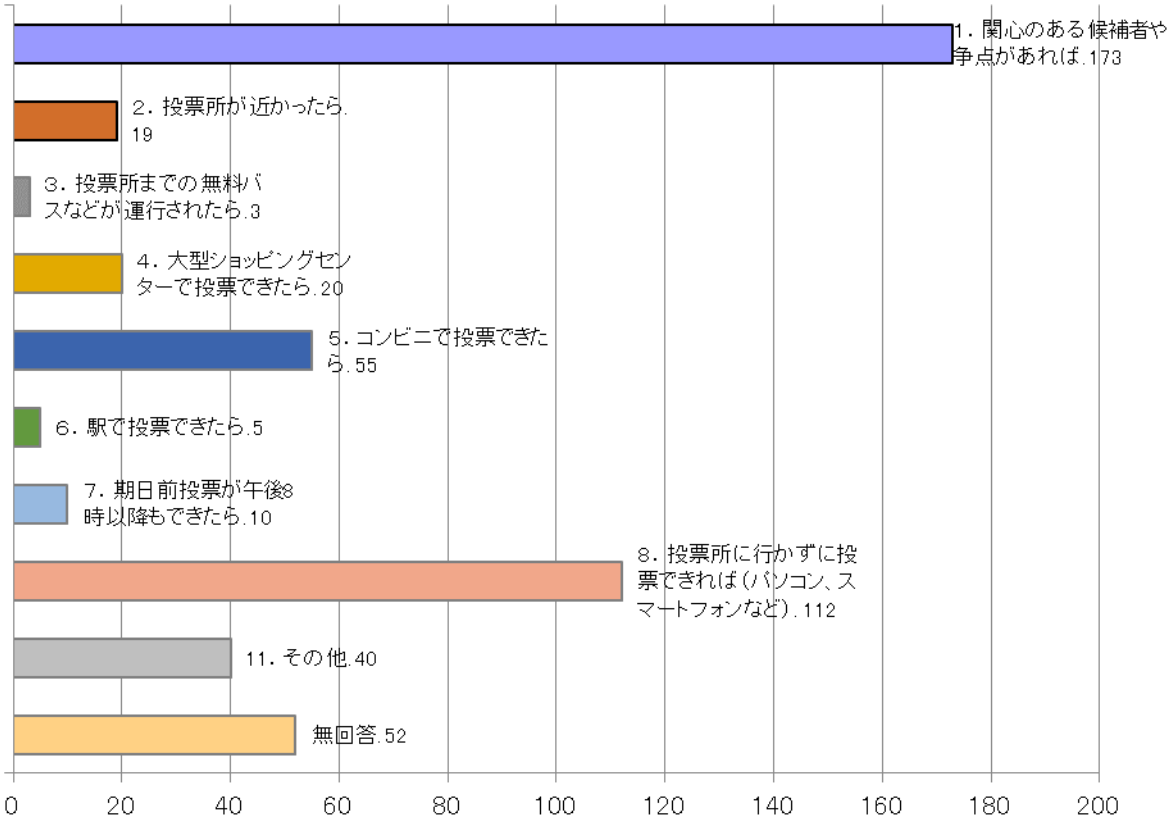


（問６は、問２で<u>２つの選挙のうちどちらか一方でも「２．投票しなかった」</u>を選んだ方のみご回答ください）

問６　あなたは、どうすれば投票に行こうと思いますか。（複数回答可）

「どうすれば投票に行こうと思いますか」の質問で、最も多かったのが「関心のある候補者や争点があれば」であり、次いで「投票所に行かずに投票ができたら（パソコン、スマートフォンなど）」となっている。

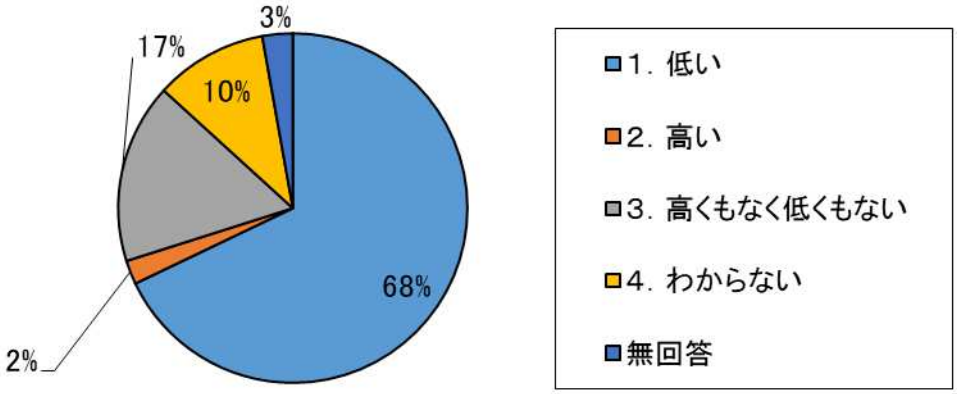
問３の投票した人の動機では、政治、選挙への関心の高さが伺えたものの、投票しなかった人の多くは、「関心のある候補者や争点がなかった」ことが今回の選挙において投票を棄権された要因の一つとなっている。



（注）「複数回答可」としていたため、割合（%）ではなく回答数での表示としている。

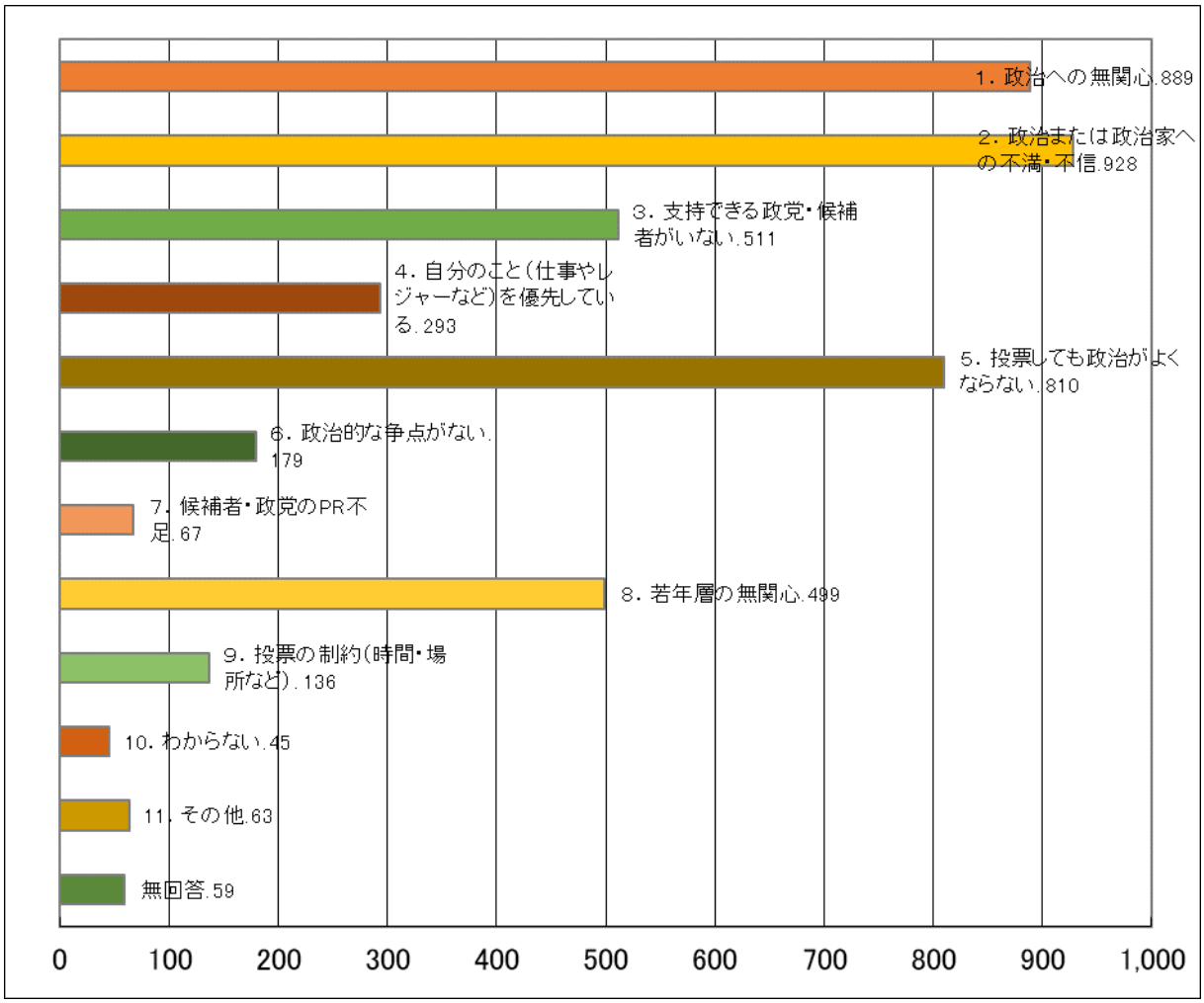
問７　今回の市議会議員選挙の投票率は、５１．７７％（前回は５９．２３％）、衆議院議員総選挙（小選挙区）の投票率は、５６．０９％（前回は５５．７２％）でした。あなたは今回の選挙の投票率にどのような感想を持ちますか。

全体でみると「低い」（６８％）が最も高く、投票率が低いと感じている人が多かった。



問８　過去の選挙と比較すると、投票率は徐々に下がっています。あなたは投票率が下がっている原因は何だと思いますか。（複数回答可）

投票率が低い理由として有権者の回答で最も多かったのが、「政治または政治家への不満・不信」、次いで「政治への無関心」、「投票しても政治がよくならない」、「支持できる政党・候補者がいない」、「若年層の無関心」「自分のこと（仕事やレジャーなど）を優先している」の順となっている。



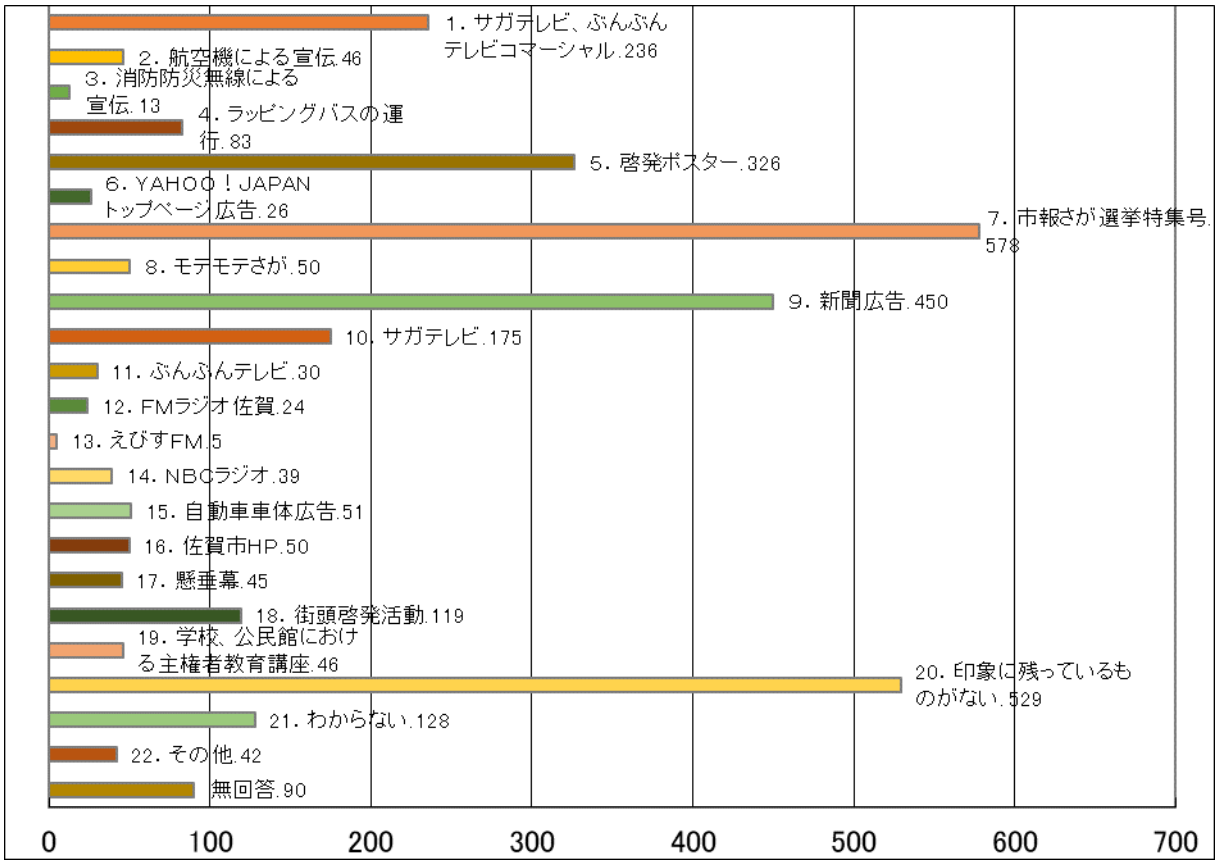
（注）「複数回答可」としていたため、割合（%）ではなく回答数での表示としている。

問９　次のうち今回の市議会議員選挙で印象に残った選挙啓発は何ですか。（複数回答可）

印象に残った選挙啓発の方法別でみると、「市報さが選挙特集号」が最も多く、次いで「新聞広告」、「啓発ポスター」、「サガテレビ、ぶんぶんテレビコマーシャル」の順となっている。

また、「印象に残っているものがない」の回答が一定数あるが、要因として選挙から本アンケート調査の実施までに５ヶ月の期間が経過しているため、忘れられてしまったことなども考えられる。いずれにしても、選挙時には毎回行っている「市報さが選挙特集号」や「新聞広告」については、多くの人に見ていただいているという結果となっている。

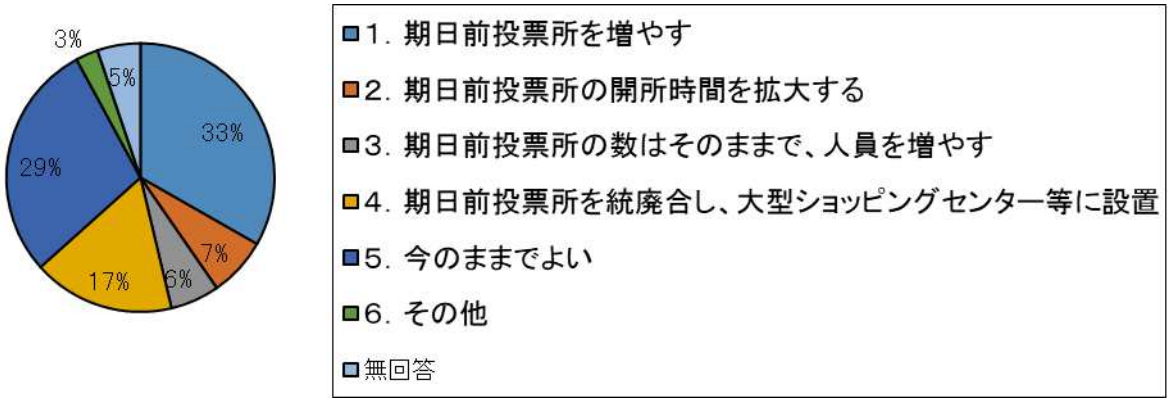
これらは、選挙時における臨時啓発の方法であるが、有権者にとっては選挙情報を得るための重要な手段であるといえることから、今後も充実した内容の啓発活動は行っていく必要がある。



（注）「複数回答可」としていたため、割合（%）ではなく回答数での表示としている。

問１０　今回の衆議院議員総選挙では、全国的に期日前投票会場が混雑していることについてニュースで取り上げられました。期日前投票所の混雑解消について、どのような対応を期待しますか。対応として、次のうち適当と思われるものを１つお答えください。

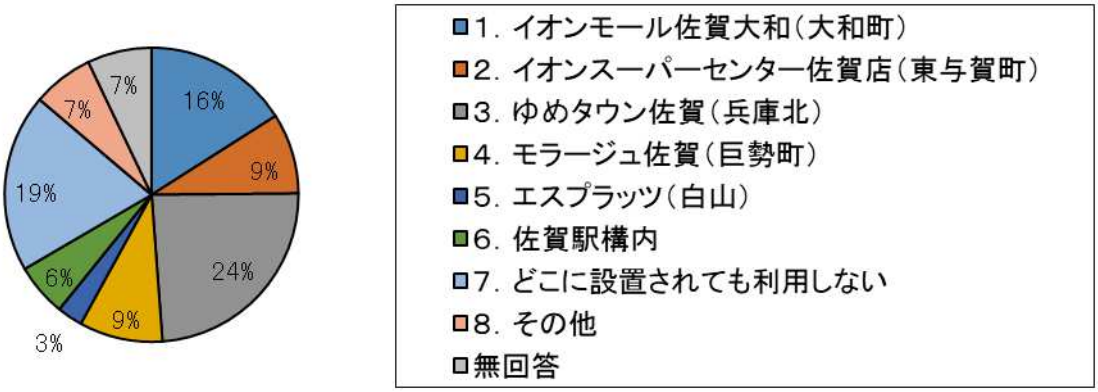
「期日前投票所の混雑解消について、そのような対応を期待しますか」の質問に対して、「期日前投票所を増やす」の回答が３３％と最も多くなっている。しかし、ほぼ同数の２９％の割合で「今のままでよい」と回答があるため、様々な考え方があることがわかる。



問１１　佐賀市内の大型ショッピングセンター等に期日前投票所を設置した場合、あなたはどこに設置されたら投票に行きますか。次のうちから１つお選びください。

「佐賀市内の大型ショッピングセンター等に期日前投票所を設置しようとした場合、あなたはどこに設置されたら投票に行きますか」の質問に対しては、施設別でみると、「ゆめタウン佐賀」（２４％）が最も多く、次いで「イオンモール佐賀大和」（１６％）、「イオンスーパーセンター佐賀店」「モラージュ佐賀」（各９％）の順となっている。

一方、「どこに設置されても利用しない」は１９％となっているが、この回答をした有権者はそもそも期日前投票所を利用せず、当日投票所を利用していると考えられる。



問１２　今回の衆議院議員総選挙において、期日前投票が占める割合は佐賀市で３６．６４％となっており、平成２８年執行の参議院議員通常選挙の２７．８８％から大きく増加し、この割合は選挙が執行されるごとに増加しています。これと連動して選挙日当日投票の占める割合が減少していますが、当日投票の投票時間を見直す場合、どれが適当と思うかお答えください。

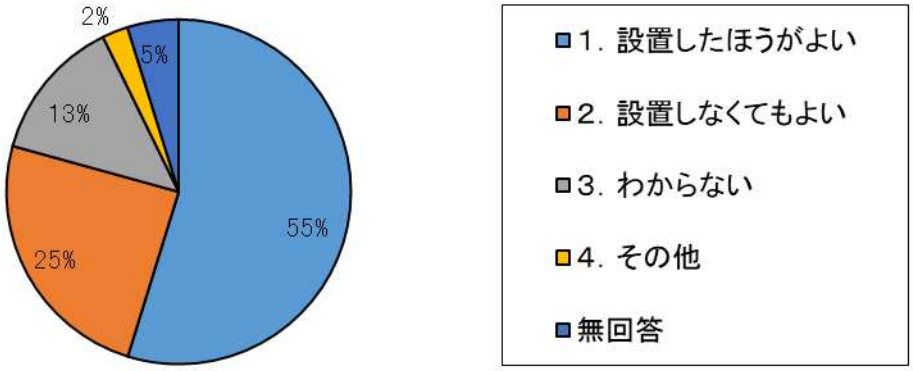
「当日投票の投票時間を見直す場合、どれが適当と思うか」の質問に対して、「７時から２０時（今までどおり）」の回答が５１％と最も多くなっており、その次が「７時から１９時」で１９％となっている。

他にも終了時刻を１時間から２時間繰上げた選択肢を設けたが、回答の割合としては、５％から１１％と少数であり、多くの人が今までどおりの「７時から２０時まで」もしくは、１時間短縮した「７時から１９時まで」の時間設定を望んでいることが伺える。

問１３　投票環境向上のため、期日前投票所や選挙投票日当日の共通投票所（市内に選挙権を有する方なら誰でも投票できる投票所）を、大型ショッピングセンター等への設置が全国的に検討されています。このことについて、佐賀市ではどう対応すべきか、あなたの考えを次のうちから１つお選びください。

ショッピングセンターへの投票所設置の可否について、「設置した方がよい」と回答した人は５５％となっている。

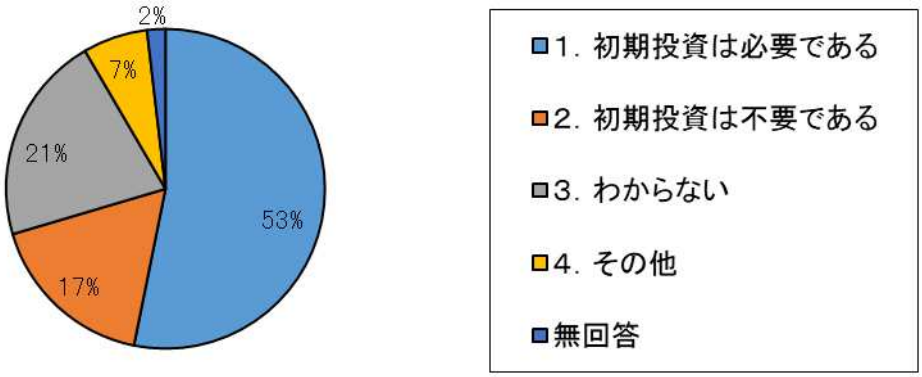
「設置しなくてもよい」と回答した人は２５％であったため、設置を望む意見が多い結果となった。



（問１４は、問１３で「１．設置した方がよい」を選んだ方のみご回答ください）

問１４　大型ショッピングセンター等へ期日前投票所や選挙投票日当日の共通投票所を設置する場合、本人確認の実施や二重投票を防止するため、新たに情報ネットワークを構築する必要があります。なお、情報ネットワークの構築には多額の費用がかかる見込みです。あなたはこの初期投資についてどのように考えますか。あなたの考えを次のうちから１つお選びください。

「多額（数千万単位）の初期費用が見込まれても設置すべきかどうか」の質問に対して、「初期投資は必要である」は５３％であった。一方「初期投資は不要である」と回答した人は１７％で、「初期投資は必要である」と考える方が多いことがわかる。



◆その他、ご意見がありましたらご記入ください。

（注）アンケートの最後にご意見欄を設けていた。
以下に記載しているご意見等があった。

〇子どもの時に教育すべき
〇選挙の費用がかかりすぎるので、無駄な費用はなくした方がいい
〇投票は義務だと思うので必ず行きます
〇住民票を動かさずに投票できるシステムがあればいい
〇家にいても投票できるようにしてほしい
〇投票を義務化した方がよい
〇投票所の高低差がない投票所にしてほしい
〇市民が投票しやすい環境を整えることは重要だと思う
〇期日前投票日を本庁と支所一緒にしてほしい
〇若い人に有利な政策がないと関心を持たないと思う
〇ショッピングセンターに投票所を設置すると混雑を招くと思う
〇マイナンバーを利用して利便性を向上させてほしい
〇郵送で投票できるようにしてほしい
〇高校等に投票所があってもいいのでは
〇名前の連呼ではなく、候補者等の政策等を具体的に説明するよう工夫してほしい
〇選挙は間違いがないことが第一なので、公明正大な選挙をお願いしたい
〇投票所までのアクセスをよくしてほしい
〇私たち若者にもわかりやすい言葉で一から政策を知れるような機会があるとよい